

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



2015~2016年度 No.190

11月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界

強調月間：ワイズ理解
ファミリーファスト

那須ワイズメンズクラブ



10月例会(アジア学院収穫感謝の日) 10月10日・11日

2015~2016年度 主題
国際会長：(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)
「信念のあるミッション」
アジア地域会長：(AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)
「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事：(RD) 渡辺 隆 (甲府)
「原点に立って、未来へステップ」
北東部長：中川 典幸 (仙台)
「今と原点を融合して未来へ」 - 楽しく改革・笑って行動 -

クラブ役員 事務局
会長：田村 修也
副会長：村田 榮
河野 順子
書記：荒井 浩元
会計：鈴木 保江
担当主事：荒井 浩元
ブリテン：田村・村田

9月例会データー (出席率：83%)
在籍者 6名
例会出席者 5名 メネット 3名
ゲスト 4名
メイクアップ 0名

今月の聖句
「わたしにとって、驚くべきことが三つ、知りえぬことが四つ、天にある驚の道、岩の上の蛇の道、大海の中の船の道、男がおとめに向かう道。」
箴言 30：18~19

東京目黒クラブ 那須クラブ
11月 Happy Birthday
なし 11/7 荒井 浩元
11/7 原田 明子メネット
11/14 河野 順子

巻 頭 言

原田 時近

「収穫感謝を覚えて」

ワイズメン、メネット、リーダーの皆様、10月10日(土)～11日(日)の「アジア学院収穫感謝の日」への参加ご苦労様でした。例年のことながら活気に満ちた多くの人々との出会い、交わり、奉仕は本当に楽しく意義のある催しであると思います。時は人類の豊かな喜び、収穫の秋です。人は食なしには生きてはいけません。この時期は豊かな実りの中に、神の創造の摂理と支配を感じ平安の喜びに浸ります。農は全ての営みの根本と言っても過言ではないでしょう。農に携わる人々の営みは、田畑を耕し、種子を蒔き、苗を植え、草を除き、追肥を施す等々と気を配り、厳しい労働に励みつつ、漸く収穫の喜びを迎えるのです。そしてその中にも干ばつあり、冷害あり、台風あり、突風ありと様々な災害に遭遇します。人の出来ることを為し遂げた上、自然に委ねるのですがその結果は如何に…。

この農民の一年の営みに、私達の一生の縮図を学ばされている思いが致します。私達は、良き人生をと願い、健康に、働きに、学びに、社会的奉仕を果たすべく努力を積みますが、しかしそこに思いもよらぬ試練に直面します。病気、事故、災害、人間関係のもつれ等々。その時、神の前に自分を明け渡し、委ねる者になりたいと思います。そして神の召しに応じて奉仕の行動を起こしましょう！「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるよう、収穫の主願いなさい。」(マタイ9:37, 38)

10月例会(アジア学院収穫感謝祭・バザー)

日時：10月10日(土)・11日(日)

場所：アジア学院

参加者：田村会長、河野、原田、村田、荒井。メネット：田村、原田、村田。ゲスト：大浦(とちぎYMCA職員)、那須YMCAリーダー(チャン、さっちゃん、つくつく、かとう)4名 合計：13名

10月の例会は、アジア学院「収穫感謝の日」に合わせて、那須クラブと那須YMCAが1ブース出店をし、その収益金をアジア学院に捧げることにして毎年活動を行ってきました。今年も「第

43回収穫感謝の日」に、那須ワイズメンズクラブ・那須YMCA合同ブースを出展いたしました。ブースでは、リサイクル品・手作り品の販売、くじびき・的あてゲームを行いました。初日は晴れ、2日目は少雨と天候が不安定ではありましたが、多くの来場者がありました。

2日間の商品の販売やゲームコーナーで得られた益金は、2日間で昨年よりも多く63,584円となり、その益金のうち40,000円を将来の農業リーダーを育てる、アジア学院生の奨学金として寄付をさせて頂きました。残りの益金はワイズ活動のために使用するワイズファンドとさせて頂きました。

なお、バザーの準備会を田村会長宅にて、10月7日(水)午後6時より行いました。又、西那須野教会より、このバザーのために献品を多数いただきました。ご協力下さった皆様に感謝申し上げます。



10月役員会報告

日時：10月2日(金)18:30～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、村田副会長、田村メネット
協議事項

1. 10月例会(アジア学院収穫感謝の日に参加)について

日時：10月10日(土)・11日(日)、場所：教室等外テラス、準備：9時集合、内容：献品販売、ゲームコーナー、手作り品・秋の贈り物、その他、献品の値付け：10月7日(水)午後6時～田村ワイズ宅。当日会計：村田メン、YMCAののぼり、シート：荒井、釣銭(100×50、100×50、1000×10：田村メネット、

2. 11月例会について

11月7日(土)午前10時より、那須街道赤松林、他団体に参加を呼び掛ける。傷害保険に加入。

3. 12月例会(クリスマス例会)について

12月18日(金)西那須野教会にて開催。メッセージは潘牧師に依頼する。

4. 11月役員会について

11月6日(金)午後6時30分～、ココス西那須野乃木店。

5. ブリテンの内容について

11月号の掲載は、西那須野幼稚園、エルム福祉会で掲載をする。巻頭言は、原田メンに依頼。

6. 北東部評議会の開催について

11月28日(土)午後とちぎYMCAさくらんぼ幼稚園にて開催。

7. その他

・10月31日(土)に瀬戸山陰部部会が姫路で開催される。姫路クラブと東京目黒クラブとのDBC締結20年記念になる。村田メン・メネットが参加。

・11月21日(土)から30日(月)まで、姫路グローバルクラブが中心になって行っているカンボジア・ラオスはぶらし指導のツアーに村田メン・メネットが参加する。

・11月28日(土)に那須地域の諸教会が一堂に『クリスマス祝会』を開催する。

旧西那須野(那須西原)の緑と水(31回)

田村修也

ここに、明治14年2月5日、株主を招集して、創立総会を開きました。この総会におきまして、社則を制定し、役員組織、株主の権利義務を定めました。その大要は以下の通りでありました。

社名 那須開墾社

株数 200株(後30株増)

1株金額 450円(15ヶ年間に払込)

払込方法 毎年総会において定める

なお規約で次のように役員を選任しました。

社長 印南文作

常務幹事 矢板 武

幹事 田代荒次郎

拝借地3000町歩の内、600町歩を区分して移住民を入植させ、一定面積を分与し、その代償として、毎月一定の労役を課するという規定でした。ここで那須開墾社移住人への貸与基準面積と義務力役の推移につきましては、

① 創業から那須飲用水路開通の明治15年11月まで、○貸与面積：3町5反歩、○義務力役：毎月5人、15年間900人

② 那須疏水開通の明治18年9月まで、○貸与面積：2町5反歩、○義務力役：、毎月3

5人、15年間630人

③ 那須疏水開通の明治18年9月以降、○貸与面積：1町歩、○義務力役：毎月1.5人、15年270人

④ 国道4号線沿いへの入植、○貸与面積：3反歩、○義務力役：毎月0.5人、15年90日となっておりますが、実際にはこの他1町5反歩や5反歩などを貸与される場合もあり、移住人への土地貸与は申し合わせどおりにはいかなかったようです。しかしながら、一区町史、二区町史、三区町史に添付されている図面を見ると、那須開墾社の開拓基幹道である縦道に隣接して、両側に同面積の貸与地が設計図のように並んでいるのがわかります。この年那須開墾社は、拝借地と大田原の中間に、なお原野約900町歩があって、政府においては、模範農場設置の意図を持っていましたが、実現しそうもありませんでしたので、その原野の追加貸下げを申請して許可を得ることが出来ました。しかしながら、大山 巖、西郷従道から、その内の500町歩を譲り受けたいとの申し出があったので承諾することになりました。そこで、大山・西郷両家が共同で加治屋開墾場を創立いたしました。加治屋と名付けたのは、大山・西郷の生地である鹿児島市加治屋町から取ったのでした。大山と西郷はいとこ関係でした。以前に記載したことですが、JR西那須野駅は、明治19年創設時には那須駅として、西郷従道の別荘地内に開業いたしました。また、西那須野駅から東へ約300m行った所の大山墓地に隣接して、下永田区の共同墓地があります。その2つの門柱には墓地用地を提供したことを記念して、大山家、西郷家と銘板はめ込まれてありましたが、現在では西郷家の銘板は失われて大山家の銘板しか残っていません。共同で始まった開墾場は、次世代のことを考慮して約250ha ずつに分割されて、大山農場と西郷農場(加治屋開墾)になりました。そして西郷農場は昭和30年第1回市町村広域合併により、西那須野町から分離合併して大田原市に編入されました。大田原市内から国道4号線に接続する日光北街道の大田原市と旧西那須野町との市町界付近に西郷神社があります。境内には珍しい沼杉の巨木が数本立っています。沼杉は文字通り沼に強い杉で、沼の中から気根を水面から突き出して呼吸をする杉です。落羽松(らくしょう)とも言われます。境内木は地面から気根をのぞかせています。また社殿は石造りで、船の形を模してあり波頭に囲まれているという他に類を見ないものです。機会がありましたなら、

那須野ヶ原開拓の多様な史跡と共に、大山別邸と墓地や西郷神社、松方別邸、青木別邸の洋館・乃木神社等や、更には足を延ばして、矢板武記念館や山縣有朋記念館等も訪ねて下さい。（以下次号へ）

今後の予定

・ 11月役員会

日時：11月6日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：11月例会（那須街道赤松林植樹例会）の、12月例会（クリスマス例会）、等。

・ 11月例会（植樹例会）

日時：11月7日（土）午前10時

場所：日光国立公園内の那須町赤松林駐車場

・ 第2回北東評議会

日時：11月28日（土）

場所：とちぎYMCA・さくらんぼ幼稚園

・ キャンプ場下草刈

11月29日（日）午後3時から行う。

・ 12月役員会

日時：12月4日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：12月例会（クリスマス礼拝・祝会）の準備。1月例会等について。

・ 12月例会（クリスマス例会）

日時：12月18日（金）午後6時～（予定）

場所：日本基督教団西那須野教会

内容：キャンドルサービス、祝会

アジア学院の方々、養徳園の方々、YMCAの会員の方々等をお招きして残りすます会を行います。

東京目黒クラブより村野ご夫妻、福島ご夫妻の4名と、西日本区の遠藤理事をはじめ事業主任・役員他、瀬戸山陰部の各クラブより総勢75名の参加でした。瀬戸山陰部全体のメンバーよりも多い部会でした。

第1部部会式典・第2部記念講演は、カトリック教会の礼拝堂で行われました。岩崎部長の開会点鐘で始まり、尾上聖愛教会牧師による説教、理事挨拶、各事業主任のアップールが行われた。記念講演は、姫路市の文化財課の福田氏の「姫路城の修復」についてのスライドを見ながらお話があり、大変興味深いものでした。第3部懇親会はザビエル館に移動。姫路クラブと東京目黒クラブがDBCを結んで20年を迎えたことの報告がされた。東京目黒クラブの村野会長の乾杯で始まり、西日本区大会のアップール、ロールバックマリアのアップール、各クラブからのアップールと大変盛り沢山のプログラムがこなされ、盛り上がった会でした。翌日は、姫路クラブと東京目黒クラブ・那須クラブの懇親会が昼食会として開催されました。来年10月8日（土）は、東京目黒クラブの設立50周年記念会の開催とのことです。アジア学院の収穫感謝祭を日曜日1日だけの参加としてでも那須クラブとしては参加したいものです。又、那須クラブと姫路クラブとのDBC締結・交流の実現を願いながら帰路につきました。



第14回瀬戸山陰部部会に参加して

村田 榮

10月31日（土）午後1時から姫路カトリック教会の礼拝堂・ザビエル館において開催された瀬戸山陰部部会にメネットと共に参加してきました。今回参加をした目的は、わがクラブとDBCを結んだ東京目黒クラブが姫路クラブのDBC締結20年という記念する年でした。部会には、

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
園長 福本光夫

今日はゴスペルシンガーの「Migiwa(みぎわ)」さんのクリスマスコンサートがありました。西那須野教会の潘牧師、大下牧師と教会聖歌隊の方々もクリスマスの賛美歌を演奏してくれました。みぎわさんは、ご自身が不登校であり、死を意識し

たこともあったが、教会学校には通えた。あるときそこで聖書の御言葉に救われたと信仰を証されました。

その話を聴いてひとりの卒園生からの手紙を思い出しましたので下記の通り紹介します。これからの正解の無い時代を生きる。そこで必要なことは、彼女たちのように、折れない心(レジリエンス)、自己統制力(意志・感情・行動をコントロールできる)、協働的問題解決力(粘り強さ、協力をしながら問題を解決する力)を身につけ、良く生きられる地球市民としての基礎が培われるこの時を大切にしていきましょう。

「先日お邪魔させて頂きました卒園生のIです。

今は東京に住んでいる私も当年30歳になりました。私は10~20代の間、イジメから精神を病み、身体中に自傷の傷跡が沢山残っています。

しかし今は薬も飲まず、病院も行かず、会社員として働いています。

此処まで私が立ち直れたのは、西那須野幼稚園が日々の感謝のお祈り、聖書からのエピソードを交えながらキリスト教としての観点よりむしろ人としての観点から“人を羨まず憎まず、人を許し、人に感謝をして生きてゆく”そんな精神的なバックボーンを、幼い私の中に与えてくれたからです。其れが無かったら、私はきっと相手を憎み自分の改善すべき部分、イジメられる要因になる部分から目を逸らし自分を変えようとはせず「何で私だけ?」「どうして解ってくれないの?」と人に優しさや理解を求めるだけの人間になってしまっていたと思います。

神様に縋って祈るのではなく、感謝の祈りを捧げて、自分自身で歩いてゆくその力を、私はこの幼稚園で学びました。

人を憎み羨み、自分への理解を求める生き方は楽だと思いません。人は決して善意だけの生き物ではありませんから。山あり谷あり、此れからもそうでしょう、けれども人を羨んだり憎んだりする、自分中心の人生よりも誰かに求めるだけじゃなく、多少なりとも与える事が出来る方が今の私には、ずっと価値のある人生に思えるのです。

子供を取り巻く環境は、年々厳しくなる一方です。園児達にも、やがて困難な時が訪れるかも知れません。其の時、この幼稚園で教わった人としての観念に立ち戻れたら誰もが自分で道を切り開いて生きてゆけると、そう信じています。

先代の園長先生、副園長先生、担任だったサイトウエミコ先生に心から感謝しています。光夫先

生、そして教師の皆様、どうぞ此れからも頑張ってください」。(西那須野幼稚園 しらゆり2015年11月13日号より)

社会福祉法人エルム福祉会 沿革

2015年6月現在

- S 59. 3月 財団法人エルム会設立
- S 59. 4月 「エルム共同作業所」開所
- H元. 10月 「移動スーパーサンクス」建設開所
※活動開始は昭和63年
- H 2. 4月 「エルム第2作業所」開所
- H 3. 6月 ボランティアエルム発会
- H 3. 12月 地域生活ホーム「エルムスプリングス」開所※現在GHへ移行
- H 9. 9月 社会福祉法人エルム福祉会設立
- H 10. 10月 「エルムの園」開所 定員30名
(現在40名 H16に増員)
- H 12. 4月 「しいたけ菌床ハウス」建設、利用開始
- H 12. 8月 エルムの園「第2作業棟」利用開始
- H 12. 10月 グループホーム「第1待降寮」開所(女性定員5名)
- H 14. 10月 グループホーム「第2待降寮」開所(男性定員5名)
- H 16. 4月 「SEL Pみなと」開所 定員19名
(現在40名 H18に増員)
- H 16. 4月 エルムの園増築
- H 16. 10月 グループホーム「第3待降寮」開所(女性定員4名)
- H 17. 10月 「hikarino café」開所※オープンは12月1日
- H 18. 10月 グループホーム「第4待降寮」開所(女性定員4名)
- H 19. 10月 グループホーム「第5待降寮」開所(男性定員7名)
- H 21. 4月 「smile」開所 児童デイサービス、生活介護事業
- H 22. 10月 グループホーム「第6待降寮」開所(定員4名)
- H 24. 5月 「たじまの杜」開所 小規模多機能型居宅介護事業、認知症対応型共同生活介護事業
- H 26. 4月 グループホーム「第7待降寮」開所
(男性定員5名)
- H 27. 10月 「hikarino café 蜂巢小店」(仮称)開所予定

YMCA報告

【みんなでワイ・Ｙ・さくらんぼ バザー２０１５】

ワイズメンズクラブ・YMCA・さくらんぼ幼稚園の合同バザーが11月3日(火)文化の日10:00~13:30、YMCAさくらんぼ幼稚園にて開催されます。

合同バザー委員会委員長は、宇都宮Ｙ'sの大久保さんです。おたのしみ券(くじ)の販売を開始いたします。(1枚200円。素敵な景品が当たります。)

※とちぎYMCAのバザーは、今年で第38回目を迎えます



【とちぎYMCAウィンタープログラム始まります!】

11月10日(火)より、冬休みプログラムの募集受付が始まります。スキーキャンプやデイキャンプなど楽しい企画が盛りだくさんです。

是非、沢山の方にお誘い頂き、ご参加をお待ちしております!

WEB 先行受付 : 11/10 (火) 10:00~11/16 (月) 17:00

会員電話受付 : 11/17 (火) 13:00~

一般電話受付 : 11/19 (木) 13:00~



【とちぎYMCA・那須YMCAの11月の予定】

- ・11/3 (火) みんなでワイ・Ｙ・さくらんぼバザー2015
- ・11/7 (土)~8 (日) オールとちぎYMCAリーダートレーニングキャンプ
- ・11/14 (土) サタデークラブ(中央公園・ハイキング)
- ・11/15 (日) Yキッズ(キャンドル作り)
- ・11/21 (土) サタデークラブ(西那須野幼稚園・クッキング)
- ・11/24 (火) 公益財団法人・学校法人 理事・評議員会
- ・11/28 (土) サタデークラブ(西那須野幼稚園・クッキング)

会計よりのお願い

2015年~2016年度的那須ワイズの会費50,000円を納入ください。東日本区、北東部、とちぎYMCA等の会費の納入。クラブ活動資金のためによりしくお願いいたします。

編集後記

那須クラブの設立以来、協力団体として共に活動してきた、学校法人アジア学院、学校法人西那須野幼稚園、社会福祉法人エルム福祉会の活動の一端を皆様に伝える紙面づくりに今後とも励んでいきます。